

令和2年度

授業改善推進プラン

全体計画及び各教科

府中市立府中第八中学校



< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の課題にまじめに取り組む。 話し合い、発表に前向きな人が授業を支えている。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 書き言葉で表現すること。 漢字の読み書きの取り組み。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、明確に表現できる力、他者と意見を交流し、考えを深められる力を身に付けさせたい。 「書く力」 テーマに沿って根拠（体験）と意見が合致した作文を書けるようにする。 漢字の読み書きに毎時取り組ませ、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに学習の重要項目を明記する。 作文のテーマに沿って学習を進める。単元終了後にまとめとなる作文を書かせる。 各自の作文を添削する。模範作文を紹介し、書き直しをさせる。 毎時5分ほど漢字練習に取り組みさせる。小テストを週1回行う。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲的に授業に取り組んでいる。 自分の考えを表現している。 「話すこと」の経験が豊富である。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 語彙が少なく、漢字を日常生活で使用できない。 文章を正確に読み取れない。 表現の仕方を工夫して文章を書くことができない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> すすんで文章を読み、語彙を豊富にし、文章表現を工夫できるようにする。そして、理解したことを自分の言葉で表現できるようにする。 関心・意欲・態度 読むこと 書くこと 言語に関する知識・理解・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いて、学習全体の過程を一覧できるようにする。 言葉や表現に着目させ、どう読み取ったのかを自分の言葉で表現させる。 伝える目的、伝える相手を明確にし、構成を考えさせる。また、言葉、表現を適切に選択させる。 漢字練習、語句の意味調べを行う。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に意欲的に取り組んでいる。 自分の考えを表現の仕方を工夫して伝えようとしている。 文章を書くことに意欲的である。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 語彙が少ない。 文章の読み取りの正確性が低い。 課題に対し、筆者の主張をや資料をふまえて作文することが苦手である。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 語彙を豊富にし、課題を正確に読み取り、自分の考えを述べることができるようにする。そして、理解したことを自分の言葉で表現できるようにする。 関心・意欲・態度 読むこと 書くこと 言語に関する知識・理解・技能 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードを配布し、単元の取組の過程を可視化する。 言葉や表現に着目させ、その効果を吟味させ、評価する活動を行う。 課題を正しく読み取り、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるために、課題作文の練習を行う。 漢字テスト、語句の意味調べを行う。

＜ 1 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からニュース等をよく見る生徒が多く、社会に対する関心は高いと言える。また、資料を活用し事象を多面的・多角的に考察し、判断する力は高い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象に対し、自ら課題を見出し、その解決の方法を多面的・多角的に考察して、適切に表現する力を伸ばす必要がある。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象に対し、自ら課題を見出し、その解決の方法を多面的・多角的に考察して、適切に表現する力。 <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象の意義や特色、相互の関連性まで結びつけられるような理解力の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行う。「深い学び」の中核が「見方・考え方」であることを踏まえ、「見方・考え方」を働かせた学びを実現する授業実践を行い「主体的・対話的で深い学び」につなげる。 <p>＜地理的分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象を、空間的な広がりに着目して捉え、主に世界的な地域の環境条件や地域間の結びつきの中で人間の営みについて関連付ける。 <p>＜歴史的分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり、事象同士を因果関係などで関連付けたりする。

＜ 2 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組むことができる。 ・意欲的に発言できる <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現する力が十分に伸びていない。 ・資料の読み取りや表現の力が十分に伸びていない。 ・既習内容の応用力が十分に伸びていない。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識を習得する。 <p>【社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・考え方を活用して、新たな学習課題に取り組める力。 ・地図・統計・写真などの資料を用いて、情報を読み取り、自分の言葉で説明できる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行う。「深い学び」の中核が「見方・考え方」であることを踏まえ、「見方・考え方」を働かせた学びを実現する授業実践を行い「主体的・対話的で深い学び」につなげる。 <p>＜地理的分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象を、空間的な広がりに着目して捉え、我が国の地域的特色や地域間の結びつきの中で人間の営みについて関連付ける。 <p>＜歴史的分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象を時期、推移などに着目して捉え、事象が起こった理由などについて明確にさせ、説明させる中で歴史的背景を捉えさせる。

＜ 3 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する学習意欲が高く、課題に対して主体的に取り組むことができる。 ・自分の考えがしっかり書ける。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な思考・判断・表現」の部分では、複数の資料や知識を活用して考え、説明することが苦手な生徒が多い。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識を習得する。 <p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図、統計資料、写真などから情報を読み取る力を身に付ける。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技能や経験を活用して、自分の言葉で概念を形成する力と応用力を身に付ける。 	<p>＜歴史的分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入時の学習の見通しを立てる活動や、単元末において自らの学習の振り返りを行う活動を行い、学習内容の確かな理解と定着を図る。 <p>＜公民的分野＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集して読み取る活動や、これに基づいて考察や、判断した結果を表現する活動を行い、議論などを通して互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させるなどを通して思考力、判断力、表現力を育成する。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算力は概ね身に付いている。 授業に対しての姿勢は真面目に取り組んでいる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎クラスに家庭学習が身に付いていない生徒が多い。 文章の読み取り力に課題があるため、数学的な見方・考え方の観点の達成率が低い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「数学的な技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについて数学的に表現・処理する技能。 <p>「数学的な見方・考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや問題集を活用し、反復練習を行わせる。 単元テストを実施し、生徒に理解度を把握させ、学習のめあてを明確にさせる。 文章を式で表したり、式の意味を説明したりする機会を授業の中で増やす。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算力は概ね身に付いている。 授業に対しての姿勢は真面目に取り組んでいる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の不足から、授業で理解できたことが、定着できていない生徒がいる。 文章を読み取る力に課題があるため、数学的な見方や考え方の観点の達成率が低い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「数学的な技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについて数学的に表現・処理する技能。 <p>「数学的な見方・考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや問題集を活用し、反復練習を行わせる。 単元ごとにまとめのプリントを用いて、定着できていない箇所を確認し復習させる。 文章数学的な見方・考え方を鍛えるために、式で表したり、式の意味を説明したりする機会を授業の中で増やす。 定着を必要とする単元は補習を行う。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算力は概ね身に付いている生徒が多い。 授業に対する姿勢は真面目である生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習が身に付いていない。 数学的な見方・考え方の観点の達成率が低く、知識・技能を活用する力に課題がある。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「数学的な技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについて数学的に表現・処理する技能。 <p>「数学的な見方・考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力。 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントで計算練習を繰り返し行う。 授業の始めに確認のためのミニテストを実施し、生徒の理解度を確認しながら授業を進める。 身近な題材を基にした問題や思考力を高められる問題を授業に取り入れ、じっくりと考える場面を設定する中で、学んだ知識・技能を活用する場面を設定する。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に授業態度が落ち着いている。学習に対する意欲が高く、新たな提示をしても素直に吸収することができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験が行えない状況であるので、実技能力の定着が不足している。 ・全体的に思考問題や文章読解が苦手な生徒が多い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>「科学的な思考力・表現力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験データを分析して、自分の言葉で原理・法則を導き出す能力と応用力を養う。 <p>「実験・観察の技能」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を重視しつつ、より早くて正確な実験操作の習熟とデータの記録・処理方法を身に付けさせるとともに、主体的に工夫しながら実験を推進できる能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探求の過程を重視した授業展開の推進をベースに、実験・観察を通して実験結果から必ず自分なりに考察・筋道をたてて説明する場を数多く設定するとともに、発展的な学習内容を提示し、応用力を高める工夫をする。 ・新型コロナウイルス対応で、実験が行えない場合、動画等で工夫して実験操作の習熟の向上、データ整理の指導に力を入れる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が授業に対して真面目に取り組み、発言もする。 ・授業中の教師の説明について、メモをとる生徒がでてきた。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な思考・表現を苦手とする生徒が多い。(観察・実験データを論理的に考察できない。) ・自然現象への知識・理解が不足している。(基礎・基本の定着不足。) 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>◇「科学的な思考力・表現力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験データの読み取り方を理解する。 ・論理的な考察方法を知る。 ・自らの論理を、自らの言葉で表現する。 <p>◇「自然現象への知識・理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通して基礎・基本の定着を図り家庭学習の充実も図る。 ・授業プリントを工夫する。 	<p>◇授業プリントの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説を立て見通しを持った観察・実験を行う内容。 ・基礎的な思考から論理的な思考へ移行できる内容。 ・思考の過程を自らの言葉で文章として表現する内容。 ・復習的な内容と、本時の学習が理解できる学習ポイントの内容。 <p>◇家庭学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の重要性を理解させる。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する意欲が高く、新たな提示をしても素直に吸収することができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に思考問題が苦手な生徒が多い。 ・個人の文章読解力や数学的解決能力、考察力の差が大きい。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>◇「科学的な思考力・表現力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験データなどを分析して、自分の言葉で原理・法則を導き出す能力と応用力を養う。 <p>◇「自然現象への知識・理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通して基礎・基本の定着を図り家庭学習の充実も図る。 ・授業プリントを工夫する。 	<p>◇授業内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説を立て、見通しを持った観察・実験を行う内容。 ・基礎的な思考から論理的な思考へ移行できる内容。 ・思考の過程を自らの言葉で文章として表現する内容。 ・復習的な内容と、本時の学習が理解できる学習ポイントの内容。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に真面目に取り組み楽しんで歌唱活動ができる。 ・積極的に発言できる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声が身に付いていない。 ・声を出すことに抵抗がある生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声を身に付けさせ、男子は変声期を上手に乗り越えさせて歌うことへの抵抗をなくしたい。 ・表現をどのように工夫するかを言語化して伝えあえるような力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声のメカニズムを理解させ、正しい発声を身に付けることに意欲をもたせる。 ・パート練習で表現の工夫について話し合いをさせて意見を出し合えるようにする。 ・鑑賞を通して歌唱の素晴らしさを味わわせる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直に学び、楽しんで歌唱活動に励むことができる。前向き。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学び（知識）を生かしてきていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現や鑑賞の解釈について言語能力を高めていきたい。 ・主体的に学習を進められる力を付けさせ、話し合いを深めて創意工夫する力を付けさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートでの話し合いや発表を通して楽譜への書き込みを定着させる。多くの曲に触れさせ、表現したいことが自分で理解できるようにしていく。 ・3学期の合唱コンクールに向けてクラスで一つのものを作り上げるよろこびを感じさせ、達成感を味わえるようにする。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動に楽しみながら熱心に取り組める。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽典や音楽史など知識に関することに対して、苦手意識をもつ生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聴くことや演奏することが生活の中の楽しみになることを理解させる。 ・3学期の最後の合唱コンクールに向けて自分たちの力で曲を創り上げる喜びを感じ、合唱の良さを感じさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習を通して表現の工夫をどのようにするのか意見を出し合い、全体で発表させる。 ・良い音楽に触れる機会を作り、音楽の良さに気付かせる。

＜ 1 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作態度が前向きな生徒が多い。 落ち着いて取り組む生徒が多い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象の特徴を立体で表す経験がない。 混色や重色する色が選べない。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵や立体で対象を写實的に表現する力をさらに伸ばす。 制作に取り組む中で、発見することや新しい表現手段を見つける力を一層伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象を観察してスケッチさせる。 立体感を表す方法を習得させる。 参考作品を示し、自己の作品に照らし合わせて描写力を向上させる。 特徴を粘土で再現するために、使う用具や手順を考えさせる。 重色や混色の効果を確認させ、混色カードを参考にして、自然な色の再現に取り組ませる。

＜ 2 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作態度が丁寧である。 集中して取り組む生徒が多い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 深く考えようとする態度が弱い。 次の制作段階に進めない生徒がいる。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字を明朝体の特徴を踏まえてレタリングする力を付ける。 漢字からイメージする事物をシルエットで分かるように表す。 漢字からイメージする事物を単純化し、見る者に意味が伝わるように表す。 注意点を確認し、素材を加工する抵抗を無くす。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助線で画面を16分割し、より正確にレタリングさせる。 縦画と横画の比を指定する。 アイデアスケッチする。 アイデアスケッチを見せ合い、意味が伝わるかどうかを確認させる。 プリントを用いて説明し、制作上の注意点を確認し、強く意識させる。

＜ 3 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 向上心をもって完成度を高めようと励む生徒が多い。 こだわりをもって制作を行おうとする生徒が多い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の作品に自信をもてず、次の工程に自ら進められる生徒が少ない。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 抽象的なイメージを「形」に置き換えたときに、具体的に説明できる力を付ける。 限られた道具を使って、自分が作りたいものをどのように制作するか、教員に聞く前にイメージできるように創意工夫する力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的なイメージを形にする場合、参考となる資料を各種用意し、友人とアイディアを共有した上で、自分の作品のデザインに落とし込ませる。 配布された紙以外にも、道具を用いて制作する工程を書画カメラ等で実践解説し、作業工程を把握させた上で、取り組ませる。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動に意欲的な生徒が多い。 ・運動が得意な生徒が、人権に配慮しながら苦手な生徒にアドバイスができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の準備、片付けなどで率先して、気をきかし、動ける生徒が少ない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな苦手な事にも諦めずに挑戦する。確固たる意欲。 ・互いを高めあおうとする力。思考力、判断力、表現力等。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像などを効果的に使用し、よい動きを視覚から理解へと導く工夫をする。 ・学習カードの改善や工夫をする。 ・技術を高めるための具体的なアドバイス例を提示する。 ・技術を高めるため、1年では出来、不出来よりも、過程の努力に価値をおくようにする。 ・人権に配慮した言葉遣いの工夫もする。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動に意欲的な生徒が多く、何事にも前向きに取り組める。 ・記録への向上心が高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技においては実戦形式の簡易ゲームなどをするとき事前に学習した個人技能を生かすことが苦手である。 ・全身持久力・投力。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの型の球技の特徴を理解して、どのような動きが簡易ゲームなどで生かすことのできる応用力。 ・思考・判断。 ・全身持久力。 ・投力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料などを活用して、その時学習する球技の動きの特徴を視覚的資料から学習する機会をつくる。 ・生徒の動きの映像を撮影し、すぐに見て改善点を把握する。集中して取り組む時間を1時間限定して設定する。 ・補助運動で3～5分間走と補助運動でボール投げを取り入れ、できる限り継続する。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動に意欲的な生徒が多く、何事にも前向きに取り組める。 ・記録への向上心が高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手な生徒との差が大きい。 ・巧みな動き、投げる力、持久力 ・特定の生徒の忘れ物が目立つ。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に親しみ、健康的な生活送るための理解を深める。 ・イメージしたことを運動として表現できる。 ・基礎運動能力の向上と種目に応じた技能の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画など視覚的にイメージしやすい教材を用意する。 ・忘れ物チェックと同時に決まりを守って授業を受けるよう日々の授業で指導していく。 ・学習カードの改善・活用をする。 ・各運動種目に関連した基礎運動を段階的に取り入れていく。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する意欲関心が高い。 ・集中して作業に取り組むことができる。 ・自分の考えをもち、表現することができる生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く課題に取り組む力が弱い。 ・班で作業を順序立てて進める事が苦手な生徒がいる。 	<p><どのような力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し、自ら解決策を考え、粘り強く取り組む力。 ・課題に対し、様々な解決方法を考えられる力。 ・計画的に、順序立てて作業に取り組める力。 ・基本的な技能の定着。 ・プログラミング演習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習では、生徒がつまずきやすい点を想定し、解決方法を提示する。いくつかの方法から、自分で選択し、粘り強く取り組めるようにする。 ・安全な作業を心がけて、生徒自身が理解できるように提示し、見通しを立てさせる。 ・小テスト等も活用していく。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの分野に対しても意欲的、積極的に取り組んでいる。 ・自分の意見を表現することができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着、応用する力。 ・つまずきを自ら解決する力が弱い。 	<p><どのような力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技術を習得し、実際に生活の中で実践できる力。 ・応用的な課題に取り組む力。 ・既習内容と基礎を生かした応用的技術力（ものづくり）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能を実際に活用する場面や課題の設定をする。 ・家庭での様々な汎用例を用いる。 ・生徒がつまずきやすい点を予想し、その際の対処例をいくつか提示する。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く課題に取り組むことができる。 ・落ち着いて作業に取り組める。 ・基礎的な技能が定着している生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習やPC演習で個別の支援が必要な生徒が複数いる。 	<p><どのような力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタン付けや基礎縫いなど、基本的な裁縫技術。 ・修得した知識や技能を実生活で活用する力。 ・工夫し、自分なりの個性を表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の頻度を高め、技能を定着させる。 ・生徒がつまずくポイントを、写真やICT機器を活用しながら視覚的にも分かりやすく指導する。 ・個人の工夫とグループにより様々な工夫ができる教材を用いる。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の単語を使った比較的ゆっくりとしたスピードの会話であれば聞き取ることができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい綴りで英単語を書くこと。 文字と音が一致していないことがある。 英語らしい発音をすること。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい発音とつづり。 少し難しいと感じる英語でも諦めずに聞き取ろうとする姿勢。 間違いを恐れずに英語を話す力。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で単語を何回も発音しながら書く時間を取り、また教科書の音読を毎回家庭学習として出す。 教科書の導入時などなるべく英語で繰り返し説明する。 ロールプレイング形式やペアワークで発話する機会を増やす。 ALT の活用。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> スピーチ発表等、予め決めていた発表については調べる等して、しっかり準備して暗記し、発表できる点。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 即興力。 ネイティブの速度で流れる英語の聞き取り。 英文法を総合的に用いて表現する。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 状況や場面に合わせて対応する力。 自然な速さで流れる英語を正確に聞き取る力（リスニング力）。 綴りの正確性や語彙の充実。 既習事項を組み合わせること。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動における、即興で表現する活動。（Word Counter） 小グループでのディベート。 教師と生徒間のインタラクションでの質疑応答。 教科書のスキットをふまえたオリジナルの会話練習。 基本文・基本単語テストの実施。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 文法的な理解を深め、書かれている単語並び替え文章を作ること。 教科書など声を出して読む、音読する力。 CDなどを聞き文章を聞き取ったりその文の内容について答える力。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 長いまとまった量の文章を読む、長文読解の力が不足している。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 長い文章を読み、問題の問いに適切にこたえる力。 関係代名詞を使った文など後ろから名詞を修飾する文法を理解する力。 自国の事を英語で紹介する力。 事前に作った文章を覚え、スピーチなどを通して自国を紹介する文を作り、覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間短い読み物を時間を決めて読み、文章を読む機会を増やし、英文を読むコツをつかんでいく。 文法プリントなどを利用しながら関係代名詞や後置修飾の理解を深めていく。 授業の中でALTの力を借りながら英文を書き、それを添削してもらいその英文を覚え発表する。